

3. 支援の流れ編～わがまち半田で暮らす～

「支援の流れ編」では、認知症の発症からその進行とともに変化していく状態に応じた支援について、大まかな目安を示しています。

本人の様子		① 認知症の疑いや初期症状があるが、日常生活は自立している 13・14ページ	② 認知症の症状があり、日常生活に手助けが必要 15・16ページ	③ 常に介護が必要 17・18ページ
		○ 今までできていたことがおっくうになる ○ 探し物が増える ○ 簡単な計算ができない ○ 手順の多い料理ができなくなる ○ 好きだったことをやめてしまう ○ 感情の起伏が激しくなる	○ 短期間に同じことを何回も聞く ○ 時間や曜日、季節、年次などがあやふやになり、服の着替えが困難になる ○ 被害妄想などの行動・心理症状が増える ○ 一人歩きして道に迷う	○ 飲食・排せつなど日常の行為が困難になる ○ 言葉による意思表示が難しくなる ○ 寝たきりになり、生活全般に介護が必要
家族など介護者の対応		○ かかりつけ医に相談する ○ ミスや失敗を責めない ○ 近親者などに伝えておく ○ 本人が元気なうちに終末期について話し合う ○ 役割を取り上げるのではなく、本人ができない部分を支援する ○ 医療や介護保険の支援について学ぶ	○ 家族だけで支えるのではなく、介護サービス等を積極的に利用する ○ 本人と家族が安心して気軽に参加できる場所を見つける ○ 介護の不安や悩みを話せる交流会やプラチナカフェ等に参加する	○ 施設などへの住み替えを考える ○ コミュニケーションを工夫する ○ 終末期（看取り）に備える
支援・サービス	1. 相談したい 9ページ	① 半田市包括支援センター ② 高齢介護課 ③ 認知症初期集中支援チーム ④ ケアマネジャー		
	2. 医療を受けたい 9ページ	① かかりつけ医 ② 認知症対応医療機関 ③ かかりつけ薬局 ④ 国立長寿医療研究センター		
	3. 社会参加したい 9ページ	① 福祉センター、地域ふれあい施設 ② 老人クラブ ③ 健康体操同好会 ④ 地域のサロン等 ⑤ プラチナカフェ（認知症カフェ）		
	4. 見守り支援 10ページ	① eフレイルナビ ② 新聞配達等見守り ③ 緊急通報装置の貸与 ④ 認知症高齢者検索機器の貸与 ⑤ 高齢者見守りメール ⑥ 認知症高齢者等個人賠償責任保険		
	5. 日常生活の手助け 10ページ	① 半田市シルバー人材センター ② 地域ささえあい活動事業 ③ 民間配食サービス ④ 市配食サービス ⑤ 外出支援サービス事業 ⑥ 市訪問収集サービス ⑦ 日常生活自立支援事業 ⑧ 成年後見制度		
	6. 家族への支援 10ページ	① ご家族応援プロジェクト ② 認知症介護家族交流会 ③ プラチナカフェ（認知症カフェ）		
	7. 住み慣れた自宅で過ごす （☆介護予防・生活支援サービス） （★介護保険サービス） 11ページ	★① 福祉用具貸与 ☆②③ 訪問型サービス（A・B） ☆⑦⑧⑨ 通所型サービス（A・B・C） ★④ 訪問介護（ホームヘルプサービス） ★⑤ 訪問看護 ★⑥ 訪問リハビリテーション ★⑩ 通所介護（デイサービス） ★⑪ 通所リハビリテーション（デイケア） ★⑫ 小規模多機能型居宅介護 ★⑬ 看護小規模多機能型居宅介護 ★⑭ 短期入所生活介護（ショートステイ）		
	8. 安心して自分らしく暮らす （施設サービス） 12ページ	① ケアハウス（軽費老人ホーム） ② サービス付き高齢者向け住宅 ③ 有料老人ホーム ★④ グループホーム ★⑤ 介護老人保健施設 ★⑥ 特別養護老人ホーム		

